

教育・研究などへの取組状況

総合工学システム学科 都市環境コース 准教授 岩本 いづみ

項目	取組状況
教育	<p>◆ 平成28年度担当科目</p> <p>構造力学Ⅰ（3C）、構造力学Ⅱ（4C）、構造実験（4C）、基礎工学演習Ⅱ（C）（2年）、基礎研究（4C）、卒業研究（5C）、応用振動論（専攻科1年C）、工学特別研究（専攻科2年）</p> <p>◆ 担当科目の取組状況（工夫・改善した点）</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべての演習問題に模範解答を配布し、後に自学しやすいようにしている。 <p>◆ 特記すべき教育方法の実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> • 構造力学の授業では、スポンジなどの模型を用い、目に見えない力を可視化して理解しやすいように取り組んでいる。
研究	<p>◆ 平成26～28年度における研究業績</p> <p>■ 学術論文執筆</p> <ul style="list-style-type: none"> • 岩本いづみ, 真野純司, 阪本吉一: 電動スライダを用いた一軸振動台模型実験装置の開発, 大阪府立大学工業高等専門学校研究紀要, 第50巻, pp.39-44, H28.12 • 棚橋秀光, 岩本いづみ, 鈴木祥之: 伝統構法架構の復元力特性に及ぼす対角線効果, 第9回歴史都市防災シンポジウム, 歴史都市防災論文集 Vol. 9, pp.101-108, H27.7 <p>■ 実用新案登録</p> <ul style="list-style-type: none"> • 模型振動実験装置のための加振装置及び加振システム, 平成29年2月登録 <p>■ 学術講演会での発表</p> <ul style="list-style-type: none"> • 岩本いづみ, 清水秀丸: 電動スライダを用いた振動台模型実験装置の開発, 日本建築学会大会学術講演梗概集(九州), 構造, pp.889-590, H28.9 • 岩本いづみ: 木造住宅の耐震性能実験装置教材の開発, 日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿), 教育, pp.15-16, H26.9
社会貢献	<p>◆ 平成26～28年度における公開講座・出前授業の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> • 公開講座「スーパージェットモルタルを用いた手形製作教室」(H28年度, H27年度, H26年度) <p>◆ 平成26～28年度における学会などでの委員</p> <ul style="list-style-type: none"> • 門真市建築審査会委員(H25年4月から) • 寝屋川市建築審査会委員(H26年6月から)